

平成29年度「留辺薬まちづくり協議会」(第6回)会議録要旨

◎ 日時	開催日時 平成29年8月31日(木) 18:00~19:48
◎ 場所	留辺薬町公民館 1階 小ホール
◎ 出席者	協議会： 9名(横田会長、稲村副会長、荒委員、石田委員、菊池委員、坂口委員、野瀬委員、古川委員、山梨委員)
	北見市： 五十嵐留辺薬自治区長 安井留辺薬教育事務所長 海鉾留辺薬総合支所 市民環境課長 福浦留辺薬総合支所 保健福祉課長 鎌田留辺薬総合支所 産業課長 細川留辺薬総合支所 建設課長 北向留辺薬総合支所 老人ホーム静楽園長 大林留辺薬教育事務所 生涯学習課長
	事務局： 飯塚留辺薬総合支所長 今野留辺薬総合支所 総務課地域振興係長 村田留辺薬総合支所 総務課地域振興係
	傍聴者： 無し

開 会

事務局 (総合支所長)	開 会(18:00) 皆様お晩でございます。 定刻の時間となりましたので、ただいまから、第6回留辺薬まちづくり協議会を開催いたします。 なお、事務局の奥原課長におかれましては、本日所用により欠席になりますので、報告させていただきます。 それでは、開会にあたりまして、横田会長からご挨拶をいただきます。よろしくお願いいたします。
横田会長	お晩でございます。 昨年は、台風が来ている時期でありましたが、9月は暖かい日が続くと予想されているようではありますが、9月は自治会でお祭りが予定されていると聞いておりま

すし、皆さんの机の上に「森のコンサート」の招待券が配られておりますが、24日の日曜日に開催されますので、是非ご参加をしていただきたいと思います。今日はよろしくお願ひします。

事務局
(総合支所長) それでは、これからの進行につきましては、横田会長にお願ひいたします。

横田会長 それでは、自治区長からご挨拶をいただきます。

五十嵐自治区長 あらためましてお晩でございます。今週の月曜日、28日ですけども、山の水族館100万人達成という記事を、新聞等でご覧になったと思います。

無事100万人を達成させていただきました。5年と2か月程度ということで、平均しますと、大体年間20万人入ったということになります。最近は11万人ぐらいということで、昨年は台風の影響がありまして、夏に一時減ったんですけど、今年の8月は増えているということのようでございます。

100万人目の方は、年齢は聞いておりませんが、70歳前後の方で京都からいらした方です。毎年、北海道が好きで旅行していて、今年はこのオホーツクを旅行してみようということで来られたようです。

これからの山の水族館については、更に集客を増やすように、そのことが、温根湯、留辺蘂、北見の観光に寄与するように我々も頑張っておりますので、皆様方も是非、PRをよろしくお願ひいたしたいと思ひます。

今日は、第10次実施計画の新規事業について、ご説明をさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひをいたします。

報 告

「 会議の成立について 」

横田会長 それでは、会議に先立ちまして、委員の皆様へ事務局から会議の成立について報告させていただきます。

事務局 本日の出席委員数は、15名中9名であります。

(地域振興係長) 北見市自治区設置条例第7条第3項の規定に基づき、半数以上の出席がありますので、本日の会議が成立いたしますことをご報告申し上げます。

なお、大江委員、高野委員、武田委員、立垣委員、千田委員、山久委員におかれましては、所用により欠席される旨、ご連絡をいただいておりますので、合わせてご報告申し上げます。

横田会長 本日の会議については、新規事業が2ページから17ページまでありますので、ご質問も多々あろうかと思ひますが、午後7時30分頃を目途に、終了したいと思っております。

議 題

「（１）留辺蘂自治区内事業の今後のあり方について」

横田会長

それでは、次第の『２．議題』に入ります。

「（１）留辺蘂自治区内事業の今後のあり方について」を協議してまいります。

今回は、第１０次実施計画に伴う継続事業について協議をいたしております。今回は、新規要望事業について、それぞれ担当課長から説明をいただいて、後に皆さんの方からご質問等をいただいて詰めた話をさせていただければいいかなと思いますので、是非ご協力をお願いしたいと思います。

それでは、先ず、総務課所管の事業について説明をお願いします。

事務局

私からご説明をいたします。

(地域振興係長)

それでは、本日は、先ほど会長からもお話があったとおり、新規要望事業のみのご説明を各担当課長からさせていただくといことで考えております。

前回採択済みの継続事業、それと、今回お示ししました臨時費として要求する予定の事業については、ご質問があれば、新規要望事業の担当課長説明後にご質問等をしていただければと思います。

「 総務課地域振興係長 説明 」

●留辺蘂総合支所庁舎改修事業

質疑・意見

横田会長

只今、地域振興係長から総務課関係の説明がありました。

そのことについて皆さんの方からご質問、ご意見等があれば受けたいと思います。

坂口委員

当然これだけ年数が経てば直さなければならないと思いますが、なぜこのことをまち協で議論しなければならないのか。建物やまちの運営をやる上で、最低限度必要なものについて、１番分かっているのは行政職員達だから、それは当然行政として行わなければならないと思います。

留辺蘂自治区の緊急課題である人口の減少だとか、高齢化だとか、そんなことには全く関係がない、あくまで行政側として行わなければならないことだと思いません。

荒委員

耐震診断をして、現況調査を云々と言っているわけだけど、とにかく古い建物なので、耐震診断はすぐに行わなければならないと思う。そのことを明示しておいた方が良いのではないかと率直に思います。

横田会長

ほかになれば、次に市民環境課所管事業について説明をお願いします。

海鉦市民環境課長

「 市民環境課長 説明 」

●広域連携 PFI 最終処分場期間延長事業2

質疑・意見

横田会長

ここはどうでしょうか。良いですね。委託業者は変わらないですか。

海鉦市民環境課長

維持管理のみとなるため、態勢も含め変わる可能性があります。

横田会長

それでは、市民環境課長の説明はこれで終わりにさせていただきまして、次は、保健福祉課所管事業について説明をお願いします。

福浦保健福祉課長

「 保健福祉課長 説明 」

●北見市はあとふるプラザ改修事業

質疑・意見

横田会長

保健福祉課長から説明いただきました。
皆さんの方からご意見等があれば受けたいと思います。

野瀬委員

外構改修工事というのは、具体的にどのような内容ですか。

福浦保健福祉課長

はあとふるプラザの東側、駅から見て右側の方に、大きな地図とその前に花壇、その下に、古いインターロッキングがあります。それがガタガタになっていまして、つまりく要因になったり、見栄えも良くないということで、高齢者が使う施設になるということもあるので、高齢者にやさしい施設にしなければいけないという考え方で一帯の外構を整備するという計画です。

野瀬委員

車椅子で行った方は、自家用車を停める場所がありません。私の知人は、端の方に止めて、そこから車椅子で上っているようです。
それでいくと、外構工事は、そちらのインターロッキングの整備は当然でしょうが、障がいをお持ちの方を含めて考えるのであれば、車椅子の方が車で行った時に停められる駐車場、駐車場が必要ではないかと思えますし、バリアフリー化されていないと、せっかくコミュニティの拠点にしようと言っているんですけども、多分足りないんじゃないかと思いますが如何でしょうか。

坂口委員

東町もずっと要望していました。木のブロックが腐ってガタガタで、花壇がありますが、手入れもされていません。
それであれば、障がい者用の駐車場にできないか。花壇もそのまま、ただ床だけ直せばいいという発想じゃなく、もっと高齢者、障がい者が使いやすいような、

思いきって花壇も看板も取ってもいいというぐらいの発想の中でやってもらいたいと思います。

福浦保健福祉課長 社会福祉協議会と相談をして検討をしていきたいと思います。

野瀬委員 今度は保健福祉課が所管になるんですか。

横田会長 保健福祉課になります。

インターロッキングの所は、3年ぐらい前からずっと言っていて、1回直したんです。インターロッキングは丁度事務所側の所の樹木を切って、腐食をさせるということをやったんです。専門家に見てもらって、基礎の方に樹木が伸びているんです。

当面は大丈夫だと思いますが、インターロッキングがまたガタガタになる可能性があります。

例えば、何年に1回は必ず見て、完全に壊れてからでは費用がかかるので、5年に1回ぐらいとか、3年に1回ぐらいは定期的に確認して、こまめに修繕していく道筋をたてないと駄目じゃないかと思います。

福浦保健福祉課長 優先順位を考えながら整備していきたいと思います。

横田会長 相談しながらやってくれればいいかなと思います。

話は変わりますが、長寿を祝う会は何人ぐらい出るんですか。

福浦保健福祉課長 出席が約430人で、記念品の引き換えが合計約1,000人です。

坂口委員 前にスポーツセンターでやっていたけど、あそこは古いし、わざわざ集まる必要がないから、温根湯は温根湯、留辺薬は留辺薬という言い方をしていなかったですか。

五十嵐自治区長 していません。

横田会長 前にそういう発想はあったんだけど、議題に上らなかったんです。

坂口委員 私の記憶では、大和、温根湯の人は福祉センターでやればいいし、留辺薬、瑞穂は公民館でやればいいと。2か所になったら手間はかかるけど、そうした方が来る人達も来やすいし、安心だなという論議をしたような気がしたんですが。

温根湯の人達も留辺薬に来なきゃならないという話になったものだから、疑問に思ったんです。

横田会長 社協のふれあいの集いが原点になるんだけど、常呂方式（地域ごと）でやるかという話があったんですが、市長の挨拶の時間が重なると困るということで、立ち消えになったんです。

坂口委員 ふれあい会食は親切で来やすいから、皆が来てくれるんだと思うよ。

横田会長 それで、温根湯もやる、大和もやる、瑞穂、社協のふれあいの集いをやっている所をメインにしてやったらいいのではないかと。町民会館も含めてという話はしたんだけどそれで終わったんですよ。

荒委員 本当に入れるんだろうかと今日聞かれました。

横田会長 ふれあいの広場だって600人ぐらい入るんだから、400人なら問題ないかと思えます。

稲村副会長 やり方も自治区によって違うから。

横田会長 1回やってみたらどうなるか分かるし意見も出てくるから多分、瑞穂だとか、大和でも意見が出ると思えます。

古川委員 ふれあい広場はテーブルも何もなくて椅子席で、それはテーブルがあったんじゃないですか。

福浦保健福祉課長 今年からテーブルをなくしました。

古川委員 スポーツセンターの時はテーブルがありましたよね。公民館では、そんなテーブルを置くスペースはないですよ。

坂口委員 温根湯の高齢者からは、会食が出るわけではないので、お土産は代理に取りに行ってももらえるから、そうしたら集まらなくてもいいのではないかと。留辺薬まで行くのも、バスがいくら出るといっても大変なんだという話を何人かの人が話をしていました。

横田会長 そう言う人はいますよね。1回やってみれば分かると思います。

五十嵐自治区長 数的にいうと、スポーツセンターでやるのも500弱ですから、70人ぐらい減っていますけど、大きくは変わっていません。

坂口委員 逆に、留辺薬から温根湯に行く場合もバスに乗って行かなくちゃならないので、それだったら行けないという意見が相当多かったんです。

五十嵐自治区長 その代わり、先ほど言いました1,000人を超える方が、お祝い品を取りに来ます。参加はしないけど、家族の方でも取りに来られるようになり、多くの方にお祝い品を受け取ってもらうという目的が1つありますね。

菊池委員 会食はしなくて、飲食もなしですか。

五十嵐自治区長 会食はしないということではなくて、テーブルが出ていないからできないと思いますね。膝の上でやるしかないんですね。

稲村副会長 自治区長は温根湯の地域からいろいろ意見を聞いていると思いますが、どのような反応ですか。

五十嵐自治区長 敬老会そのものは、移ってもいいという意見は聞いています。

稲村副会長 はあとふるプラザの関係ですが、去年の6月からふまねっとで利用させていただいており、現在、延べ昨日現在で1,460人が使わせてもらっています。

何度か言いましたが、ボランティアルームが半分社協のもので埋まっていて、現在人数も毎回増えてきているものですから、一定の効果をあげるためには、人数制限をしたいんです。

ですが、当日受付なので、来る人を断わる訳にはいかず、ぎゅうぎゅうの状態です。危険が伴うということはないんですけど、先ず、荷物を何とかして欲しいというのが1つ。

それから、構造上大きな柱があるんですが、去年使い始めた時に壁に穴が開いたんです。15cmぐらい外側に化粧はしたんですが、コンクリートの上がその分だけ無駄になってぎゅうぎゅうなものだから、人が歩くギリギリしかとれないので、それを何とかして欲しいんです。打ちっ放しのコンクリートでもいいから、要するにスペースを広げてほしいんです。そうすると2面使えるんです。今は1面でぎゅうぎゅうでやっているんで、60人に限らず、他の人が利用するとしたら問題があると思います。

せっかくの機会だから、壊すんだったらそうお金がかからないんじゃないかなと思うので、是非、来年に向かって検討をしてもらいたいなど。過去の化粧板みたいなもので貼ってあるので、大した問題ではないんじゃないかなと思っています。

それから、もう1つ、先ほど言った町内の案内板がまだ古い建物などが載ったままなんです。近々また取り壊しなどが出てくるので、やっぱりこまめに見て、きちっと直してもらわないと、他から来た人が間違える可能性がある。しょっちゅう見ているものですから、気になってしょうがないので、花壇も含めて、抜本的に考える必要があるのではないかと。将来にわたって、そういう施設として使うんだということであれば、1番ベターな方法を考えて、仕切り直したほうがいいんじゃないかなという気がします。

坂口委員 　　だから、老人会館的な機能を持たせたんだから、はあとふるプラザの向かって右側の花壇と木のブロック、それこそ先ほど言った車で来て、車椅子でサッと行けるようなもっと福祉にやさしい箇所として考えておいた方がいいんじゃないですか。床を直すというだけじゃなく、発想自体を。

横田会長 　　今の荷物のことについては見ていないので、社協の副会長の立場で見て対応したいと思います。

野瀬委員 　　エレベーターを使う際には事務所に言いに行かなきゃ動かないので、そのあたりが問題ですよ。

横田会長 　　社協の正副会長会議で話を決めていくそうなんですけども、この間、呼ばれて、話をしてきました。取り敢えず、物品だとか、形態が悪くて駄目だという話はしています。

野瀬委員 　　行政の方から働きかけてもらって進めて欲しいです。

福浦保健福祉課長 　　もう1回確認してみます。

五十嵐自治区長 　　事務所の片付けは言っているはずなんです。

横田会長 　　遅いんです。とにかく。

横田会長 　　取り敢えず全部入れておいてもらっていいんです。見つけて何とかしようと思っているから、そこに入れるように言っておきます。

横田会長 　　次に産業課から説明願います。

鎌田産業課長 　　「 産業課長 説明 」
●住民センター整備事業（瑞穂改善センター整備）

質疑・意見

横田会長 　　今、鎌田課長から説明がありましたが、皆さんからご意見、ご質問等があればお願いします。

荒委員 　　住民センターの整備自体は良いと思います。体育館を残さないということですから、瑞穂の人達が集まって、体を動かしたりいろいろなことをやるということでは、絶対必要な場所だろうと思います。

菊池委員 現実的に予算化できるのですか。

鎌田産業課長 一応、地域の方々の要望もきちっと伺っておりますし、皆さんと話をした結果、施設内の改修によって使える所は使いましょうということです。
部分的な改修を行いながら実施するというような、そういう話になりましたので、それを目標に事業費は出ていないんですけど、今、精査中です。

横田会長 事業費を出してやらなかったら、新規事業といっても、もっていきようがないのではないですか。

鎌田産業課長 概算ですが出しています。

横田会長 どのくらいですか。

鎌田産業課長 概算で1,500万円くらいです。

横田会長 新規事業だから、必ず予算的なものを出していかないとだめだと思います。

菊池委員 横に増築するような形になるのですか。

鎌田産業課長 増築はないです。

横田会長 小体育館を使うんでしょう。多目的ホールの改修ですか。

五十嵐自治区長 多目的ホールに椅子とか机をいっぱい置いてあるので、それを収納するのに増築で倉庫をつくるという話です。

稲村副会長 それをつくれればオープンで使えるということでしょう。

五十嵐自治区長 ソフトバレーをやったり、卓球をやったりとか。

菊池委員 倉庫は小さいのがありますけど。

横田会長 それでも、大体概算で正式でなくても、このぐらいの予算だよということを載せておいた方がいいんじゃないですか。

鎌田産業課長 内部の協議の中でも概算の費用というのは必要なので、後で出していきますが、今日のまち協の資料には間に合わなかったのです。

横田会長 9月21日には間に合うんですか。

鎌田産業課長 出します。

横田会長 もし間に合うんだったら出してください。

横田会長 それでは、建設課所管事業の説明をお願いします。

細川建設課長 「建設課長 説明」

- 市営住宅改善事業
- 市営住宅建替事業（公園団地）
- 留辺薬町あさひ保育所2号通り外2路線道路整備事業
- 留辺薬町留辺薬訓子府線道路整備事業
- 留辺薬町旭西1号通り外2路線整備事業
- 留辺薬町旭西4号通り道路整備事業
- イトムカ橋護岸改修事業

質疑・意見

横田会長 今、建設課長から説明がありました。皆さんの方からご意見等があればお願いします。

稲村副会長 7ページの公園団地の建替え事業の関係なんですけど、これは何の返事もないので、あらためて言います。

公共施設マネジメント基本計画の留辺薬の公共施設の年度ごとの耐用年数に合わせた一覧表を私がつくると言ったら、駄目と言われましたが、つくりますという話が一向に出て来ないんですね。

何故それを言うかということ、前から言っているように、この留辺薬を50年後どうするんだというビジョンなしに、ただ、こうやってなし崩しにやっていっても意味がないよということなんですよ。

お金がどれだけかかるかということの大雑把な年度ごとに見ていかないと、無駄なことをやっていくんじゃないかということから、敢えてそういうことを言っているんです。

例えば、公営住宅は公営住宅で、年度ごとにここに何戸あって、皆が見て、この公営住宅がどこにあるんだということ分かるようにして、ずっとやっていったら、このぐらいで建て替えなきゃならないなというのが分かる。誰でも分かるような表をつくって欲しいということをお願いしています。

何故、こだわるかということ、今回、東町団地がようやく3年がかりで、東町に設置されますが、その後の計画がまたあそこの空いた所に建てるということでしょう。

そういうことと言えば、まちづくりになっていないんですよ。まち中に空き家、空き地がたくさんあるのに、何でまち中の活性化や交通問題、除雪やインフラの整備など、人口が減っていく中、何故、まち中に人を集めないんだということを敢えて言いたいんですね。

旭公園は、あの年齢構成からいったら、15年後あたりには全然人がいなくなります。そこに何で公営住宅を建てなきゃならないんだと思うんです。根本的に考え方がおかしいと思うんですよ。

だから、このことをもう1回基本的に見直す必要を私は求めたいなと思うんですよ。

これは、ビジョンの問題なんですよ。人口減少と将来このまちをどうしていくかということを描かないと、全部駄目になっていく気がします。

坂口委員 26年度北見市住宅審議会の公開議事録がネットに載っているんだけど、留辺蘂自治区の人間が誰も行ってない。都市計画には行っていると思いますが。

細川建設課長 留辺蘂自治区から1名だけです。

五十嵐自治区長 都市計画審議会は野尻さんが行ったんですか。

坂口委員 合併する前に、留辺蘂の都市計画審議会でその借り上げ公営住宅の問題だとか、いろいろ宿題がそのまま持っていらっているはずなんですけど、全然回答もないし、表面的なものも出てこないんだよね。

本来なら、北見市がやっているシルバーハウジング30戸、道営が10戸、合計40戸、相談員を付けた高齢者用の福祉住宅がありますけど、何で1番老人の多い一人住みの多い老々夫婦が多い留辺蘂に計画がないのか。半分でもいいし、初めに4分の1でもいいから、そういう事業が出てこない総論だけで終わっちゃうのは、ちょっとおかしいかなと思います。

公営住宅だって、何回もまち協で話し合っても、ただ単に建て替えをすればいいんだということじゃ駄目なんだと。将来的な人口規模だとか、そういう将来を見据えた公営住宅のあり方。場合によっては、福祉高齢者住宅あたりだって必要じゃないかと思いますが、そのあたりのことが反映されない。

横田会長 基本的には、こういう市営住宅の建て替えは、今、稲村さんが言っている問題提起をしているんだけど、詰めた話というのはなかなかできないという要素もあるんですけど、まちづくりをどうするかという話をしたことがあまりないんですよ。

元営林署官舎と営林署と吉田木材のあのあたり一帯に、今の光星苑があって、小野寺先生もいるわけだから、それで、あそこ一帯を福祉特区、あるいは、福祉村構想ということで、そこに、団地を持ってくるとかというふうなことも考えたらいいいんじゃないかと問題提起をしたことがあるんです。

今言った問題提起も含め、答申の中に入れて、直接市長に考え方の話をして、そこから進めていくということしかないんじゃないですか。そういうことで、ご理解いただければと思います。

菊池委員

今、団地の中に行くと、結構お年寄りが沢山いるわけです。その人達が亡くなってどんどんどんどん人が減っていった時に、団地の新しい所ができたけど、入る人もいなくなってくるような団地になってくるわけですよ。

横田会長

推計では、平成40年で、4,900人です。

坂口委員

留辺薬でそれだけいるという数字だから。

菊池委員

だから、温根湯の場合には、団地がある程度整備されているでしょう。今度は留辺薬なんだけど、これは、上町と豊金と公園町と団地が3つあるでしょう。どこか1つに絞ってやるというわけにはいかないんですか。

横田会長

いかないんですね。

稲村副会長

建てた年度が違うから。

菊池委員

ということは、古くなった団地は壊して、新しい所に転居してもらって、そういうようにしないと、減っていくわけだから。

稲村副会長

向こうが終わったら、あそこに建てるという発想しかないんです。それはおかしいぞと。他に空き地があるんだから。

横田会長

前に笠原さんが、副会長の時に提起しているんですが、イトムカ鉱業所に北見から通っている人がいっぱいいて、そういう若い人を留辺薬の空いている住宅に入れるとか、団地に入ってもらって、留辺薬に住んでもらうという問題提起をしたことがあるんですけど、それがそのままになっているのです。

だから、そういうことも含めていくと、今の留辺薬の空き家をリフォームして、そういう人達に入ってもらおうということも考えて、これから対策を練らなきゃ駄目だと思うんですね。

菊池委員

何百人いるか分からないけど、リフォームできて、市がやってそこに入ってもらおうというのは、それは最高のことですね。

横田会長

そういうことを、イトムカ鉱業所の責任者と、そういう人とも協議してまちづくりのために事業としてやってくれという話し合いに応じてもらうことも必要なのかなと思うんですね。

菊池委員 それができれば1番いいですね。

横田会長 だから、留辺蘂のまちづくりをするための事業として、そういうことも含めて考えましょうかというふうにしていかなかったら、いつまで経ったって同じことですよ。

菊池委員 だから、先ほどから言っているように、対策を練る時に、まち協の中でいろいろ話をして、計画を練る時に、豊金団地が古いんだったら、豊金にいる人達が何人いるか分からないけど、今度どこか新しい所にできたら、そこに転居してもらうなど、そういう方法をとっていけば、団地がそんな3か所にもあって、全部面倒を見なきゃいけないとなったら、大変なことでしょう。

 そういう方法をとらないで、どこか1つをカットして、3地区を2地区にするとか、そういうような方法はもう、それぐらいの荒治療をしなければならないのではないのでしょうか。

稲村副会長 公営住宅は60年使っていて、他の建物も鉄筋でやれば60年、70年ざらなんだから、その頃にいったい何人留辺蘂にいるんですかということですよ。

 そのことを考えてやらないと、とんでもない間違いになると思います。その頃になってからコストばかりかかって何をやってたのということに絶対になる。

 だから、そのあたりを考えていかなければ留辺蘂はなくなってしまふ。建物全体をどうしていくかということで公営住宅にこだわっていないんです。

 今回、旭コミュニティセンターは実施計画の段階だから、本当にあそこでもいいのとか、極端な話50年も70年も、反対しているわけではないけど、そういうことまでちゃんと考えてまちづくりをしないとだめじゃないかと考えます。

菊池委員 この間、東川に行った時に啞然としましたね。

稲村副会長 これから、人口が増えていくとか、ああいう所ではもう留辺蘂と一緒にならないんです。合併しているということもあるし。

 やはり、根本的なことをもう1回ちゃんと、施設については完全に将来これはいらない、これはいるけど、これとこれ一緒にしてここに建てようとか、利用がしやすい場所とか、いろいろ考えて青写真を描かなかつたら、今までの積み重ねで、結局失敗してしまう。

菊池委員 そうならないために今話をしようとしているんです。

稲村副会長 だから、具体的に皆で知恵を出してもらって、それをまとめて答申しましょうよ。

菊池委員 1つは、こちらから言わなきゃいけないわけで、市の建設課でそれはできるんですか。

稲村副会長 できるできないを含めてやるんです。

横田会長 そういうことも含めて、全体で考えて、10月の答申なんですけども、それに盛り込むべきものは盛り込んで、皆さんは来年の6月13日まで委員でいるわけだから、その間に、いろいろなことを考えていくということにしないと、ちょっとまずいです。

菊池委員 だから、もう本当に荒療治で、今ある3つの団地を2つにするとか、そういう具合にしていかなかったら、だめだと思います。

横田会長 そういうことも含めて、これからの留辺薬は、まちづくりをどうするかということを考えて、人口減少が甚だしいわけだから、何とか人口減少を抑えるためには、この手しかないんです。

稲村副会長 商店街の問題もあるし、人を寄せられなかったら、店だってやっていけなくなる。スーパー1つあればいいやと言っていたら、スーパーが撤退したら終わりだから、利用する形をつくってやらないと、商店だって生きていけない。やっぱり人を集めないと駄目です。歩いて行ける距離でないと、そういうふうにしていかなかったら。

菊池委員 札幌だって、駅の近くに建ったマンションは直ぐに完売だっていうんだから。そういう発想になっていくんです。病院に近いとか、駅に近いとか、皆がそういうふうに集まってくるから、郊外の家がどんどんどんどん今、空き家になっているでしょう。そういう現象が今起きているんです。

稲村副会長 9ページ留辺薬訓子府線道路整備事業の留辺薬訓子府線の始点はどこで、終点はどこなんですか。

横田会長 調べて後で稲村さんに回答してください。

荒委員 8ページ、私の住んでいるところの関係で、この間、警報が出て、被害が出たんですが、建設課の人が来て相談をしたら、最終的には舗装しか解決の方法はないという結論が出ていますので。

五十嵐自治区長 川に流れていかないんです。

荒委員 市の道路が真ん中の方が引っ込んでいて、そこに繋がっている道路の所に全部集まってくるわけです。

だから、そこを下水も含めてきちっとしてもらわないと、水を流しようがないわけです。

横田会長 温根湯中学校の前の道路も国道から皆入ってきて大変だったんです。建設課に話をして柵を大きくしてもらってということだけど、あそこも大変だったんです。今は直ったからいいんだけど。そういうこともあるので、要望としておきます。

横田会長 建設課関係の質問があれば、また後ほど言ってください。
それでは、静楽園の所管事業について説明願います。

北向老人ホーム静楽園長

「 老人ホーム静楽園長 説明 」

●養護老人ホーム静楽園施設整備

質疑・意見

横田会長 この部分についてはどうですか。

稲村副会長 単純な質問なんだけど、これはできてから15年ですよ。こんな簡単に交換機が駄目になるものなんですね。分からないんだけど。

中央監視装置というのは、モニターをして、中央で状況が分かるものかをいっているんだろうと思っているんだけど、これらもそんな15年ぐらいしかもたないものなのかどうかという単純な疑問なんだけど、どうなんですか。

北向老人ホーム静楽園長

熱交換機については、現在清掃しているんですけど、清掃しても追いつかない部分があるので、交換したいということで出させていただいております。

事務局 電話交換機自体はもつんですけども、交換部品がないということで、壊れたら直らないということで、①と②は新たに交換更新するということです。

横田会長 それでは、教育事務所所管事業について説明願います。

安井教育事務所長

「 教育事務所長 説明 」

- 瑞穂小中学校遊具等撤去工事事業
- 瑞穂小中学校教員住宅解体整備事業
- 瑞穂小中学校校舎体育館解体整備事業

質疑・意見

横田会長 このことについて、菊池委員いかがですか。

菊池委員 これもいろいろ話をしています、総務課と教育事務所と話していますから。
ただ、それが直ぐできるかできないかはわかりませんが、瑞穂の人は早くやってほしいという要望だけはしておきます。

稲村副会長 これに載っている年限でいくと、瑞穂の教員住宅のどこのことを言っているのかわかりませんが、老朽化率50%以下の所が2棟あるんです。2戸なのか、2棟なのか分からないけど、これは全部壊すということですか。

安井教育事務所長 教員住宅につきましては、現在教員でない方が入っている住宅もございまして、民間の方にお貸ししている比較的新しい平成にできた建物が、丸山住所ではなく、瑞穂住所に2棟ございます。
そのうちの1棟については、農業後継者の方が今使っております。その部分の新しい住宅については、今後も使っていけるように配慮していただきたいというふうに、地域の方からは言われておりますので、その部分についての解体は考えておりません。
瑞穂小中学校の側に、何棟もあるんですが、その部分については、解体をして欲しいというご要望なので、そこは校舎と共に解体をしたいと思っております。

稲村副会長 つまり、昭和52年、41年、53年、54年という部分を解体するんですか。

安井教育事務所長 そうです。

稲村副会長 平成3年以降に建てたものは残すということですね。

安井教育事務所長 平成になってから建てられたものについては、残すということです。

稲村副会長 了解しました。

菊池委員 学校の校長さん、教頭さんが住んでいる所意外は全部空いているんですよ。そこを全部壊してくれと。更地にしてくれと言うことです。
それから、グラウンドのバックネットとか、遊具とか撤去して更地にしたいと言うことです。

稲村副会長 壊すことはいいんですけど、新しいのに壊すのかなと思ったものだから。分かりました。

横田会長 地域の皆さん方がOKならいいですから。
それでは、次に生涯学習課所管事業の説明をお願いします。

大林生涯学習課長

「生涯学習課長 説明」

- 留辺蘂町開拓資料館整備事業
- 移動図書館車更新事業
- 留辺蘂町公民館耐震診断・現況調査事業
- 留辺蘂町体育館耐震診断・現況調査事業
- 旭公園多目的グラウンド整備事業

質疑・意見

横田会長

説明をいただきましたが、ご質問等があればお願いします。

菊池委員

前に専修大学が来て使っていたラグビーのグラウンドがありますよね。モイワスポーツワールドのグラウンドキーパーにお会いすることがあって話を聞いたんですけど、北見市のグラウンドの中ではあそこの芝生の状態が1番いいんだと。水はけもいいし。そういうことを聞きましたので、お話しておきます。

稲村副会長

16ページの開拓資料館整備事業ですが、かつて、移転をするかもしれないという話がありましたよね。移転はしないで、あそこの現地でということでしょうか。

大林生涯学習課長

この開拓資料館は、武華駅通の貴重なものと、歴史的な意義としましては、建設当時から同じ場所に建っているということが重要なことでありまして、基本的には今の場所から移転はせずに、あの場所で駅通として整備する方向で考えております。

横田会長

この間、東川町の帰りに寄って見てきたんですよね。やっぱり看板を出すとか、人が見学に来てくれるようなアプローチを考えていかないと、3,300万円もかけて改修するんだから、そういうことを観光協会とかいろいろ考えていかないと駄目ですよ。

大林生涯学習課長

この後、北見市の文化財審議委員会とか、地域住民の方々と意見交換なり、意見をいただきながら、平成29年、30年度に、どのような状態で整備していくかということの方針を立てて、31年度からの実施設計に取り組んでいきたいというふうに考えています。

横田会長

職員が実際に見て、実際に国道の車の関係だとか全部分かるわけだから、そういうことを含めて検討をしていけばいいんじゃないですか。

大林生涯学習課長

基本的には、こういう形でいきたいということはお示したので、意見をもらって行って、修正をかけていくという日程です。

横田会長 そういうアプローチをかけることを考えた方がいいと思いますよ。

稲村副会長 分かりました。移転をしないということで。何か道の駅と云々とかいろいろ前にあったから。了解しました。

五十嵐自治区長 先ほど、庁舎の耐震調査と公民館の耐震調査がありましたが、会長が言われましたように、41年に建て、50年以上経っているということで、改築に向かっていくのか、あるいは、耐震で56年以前の建物ですから、何等かの改修という話が出てくると思うんですけども、それじゃ改修をして、長寿命化を図るのか、これはとても大きな問題だと思うんです。

 先ず耐震調査をしてみないと分からないですけど、こういうことを皆さんで先ず話をしていただかなきゃならないなというふうには思っています。

 例えば、庁舎を建て直そうとか、公民館を建て直そうとした場合に、それじゃあ場所はどこののと、すごい大きな問題で、北見みたいになりますので、何十年も建たないということになりますね。

 旭コミュニティセンターの話をしていましたけれども、今のところ我々はコミュニティ活動として、北側の地区は公民館、東側に旭コミュニティセンター、西側は西区住民センターで、ちょうど三角形なんです。

 そういう活動、あるいは、避難の場所としても、そういう三角形の中で収まるということで、今、コミュニティセンター建設にあたっては進めていますけれども、ただ、人口が減ってくるだとか、将来を見据えると、どうするかというのは、相当大きな問題になっているのかなと思いますので、少しずつでも、皆さんの中でご議論していただく方がいいかなと思います。

稲村副会長 土地を買ってしまったからでは間に合わないですから。

横田会長 総体的にそういうことを考えて、皆さんで改めて検討をさせていただきますので、よろしくお願いします。

 それでは、取り敢えず、これまでのところで、質問漏れ、ご意見等がありましたら出してください。

野瀬委員 上町団地の高齢化対応手すりほどの程度の対応する予定ですか。

横田会長 後で、確認して報告してください。それでは、もし、質問漏れ等があって、どうしても聞かなきゃならないという時には、担当課長の所へ言って聞いてください。それでは、担当課長の皆さんお疲れさまでした。

横田会長 それでは、次の協議会の前に運営委員会を実施したいと考えています。実は、運営委員会につきましては、答申の内容を今までの皆さんのお手元に答申

書（案）をお配りしていますが、この答申を今までのやり方から少し変えていこうかという話をしております。

まだ具体的にどうするかは決めておりませんが、9月7日、3時からここで運営委員会を開催させていただくんですけども、それまでの間に、もし委員の皆さんの中で、いろいろとこういうことを入れてほしいとか、こんなことが必要だよねというふうなことがあれば、6日までに、総務課長の方に電話をするか、あるいは、文書で提出していただきたいと思います。

それでは、次回の協議会に答申書の原案を示していきたいということで、皆さん方はなかなかお忙しくなるかと思いますが、よろしくお願いをしたいと思います。

その他

横田会長 本日の案件は、これで全て終了しましたが、委員の皆さんの方から何かご意見等があれば出していただきたいと思います。

稲村副会長 この答申案は、いつもより1か月早いということで、次回とその次には取りまとめの段階に入っていくんです。あまりのん気にしていただけないと思います。
先ほど私が言ったこれ（公共施設別耐用年数一覧表）のまとめをやってもらえるのか確認をして、しないのだったら、私がつくっていいですかという了解をもらっていきたいんです。

五十嵐自治区長 つくります。

稲村副会長 次回には出してください。

五十嵐自治区長 使わないものをどうしていくかということですか。

稲村副会長 それ以前に、現状がわかるものをつくってもらいたい。

五十嵐自治区長 現状といいますと。

稲村副会長 これを年度別に、例えば、公営住宅なら、公営住宅で一覧をつくって、何年度、何年度だったら、建て替えがくるよと。それがどこなのかということが分かるようにしてもらいたい。

荒委員 留辺薬の関係が分かるものでしょう。

稲村副会長 2ページのを、ただこういうふうにつくり変えてほしいということですよ。

横田会長 そこは、稲村さんと自治区長とで協議してください。

稲村副会長 議論するのに、叩き台として見やすいものがほしいと。でないと、これは分かりづらいんです。

横田会長 分かりにくいから、見てないですね。

稲村副会長 とにかくものすごい数があるんですよ。

坂口委員 先ほどの公営住宅のが出ていたからプリントアウトしたんだけど、公営住宅は自治体が国の補助金で建設する直接建設方式のほか、定められた基準に従って建設された住宅を借り上げ方式。だけど、買い取り方式というのもあるんですよ。
だから、留辺蘂のように空き家になってくるのを公営住宅として、今度買い取る方式が当てはまるかどうか一度市で調べてみてはどうかと思います。

菊池委員 北見はやっていないでしょう。

坂口委員 北見は借り上げなんです。借り上げは北見は3つあるだけだからね。買い取り方式は一切ないです。

五十嵐自治区長 買い取りができるかどうかは分かりません。

坂口委員 それを調べてもらえますか。

横田会長 シルバーハウジングの検討会をやっているわけだから、そのへんのことも含めて、今のことは重要な意見ですよ。調べてもらったらいいですよ。

坂口委員 例えば、斡旋してあげるとか、壊すのが大変だからというので、もらえるものなのか。行政も関わってそういうのを上手く活用していただきたい。

稲村副会長 シェアハウスとか、いろいろなことを考えていかないとね。要望があるんだから。

横田会長 とにかく、31年になったら、留辺蘂の人口が5,900人になりますから、そこを何とかおさえて、予想を覆してやろうかなと思っているんですけど。

横田会長 それでは、事務局からお願いします。

事務局 (地域振興係長) 次回の第7回まちづくり協議会の開催につきましては、9月21日(木)を予定しております。あらためてご案内させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

閉 会

横田会長

以上をもちまして、第6回目のまちづくり協議会が終わるんですけど、これからまたいろいろと皆さん方にお手伝いをしていただかないとなりませんけれども、ご意見が沢山出てくることを期待したいんですけども、時間の制限もありますので、それぞれ担当課長の方にも出向いていただければいいかなと思っております。

それでは、皆さん大変お疲れさまでした。

以上のとおり、まちづくり協議会（第6回）を終了した。

（19：48 終了）